

JMFF

日機連週報

第3501号 2025年4月25日（金）

CONTENTS

● 委員会報告

日機連 WEB 講演会「ISO/TC199 及び IEC/TC44 が扱う
機械安全規格の作成動向」を開催

● 研究成果報告

「第11回 ロボット大賞事業報告書」の公表について

● 日機連の動き

● 会員イベント情報

- ・ (一社) 日本食品機械工業会
「FOOMA JAPAN 2025」開催のお知らせ
- ・ (一社) 日本フルードパワー工業会
「2025 年度第 1 回目 油圧講座・空気圧講座」のご案内

● ワシントンレポート特別記事

『小さな街アルファレッタが「南部のテクノロジー都市」になれたワケ』

● お知らせ

- ・ (独) 中小企業基盤整備機構「輸出・ビジネス拡大を目指す「海外 CEO 商談会」
の参加者募集！【6/30～7/4 大阪開催】」
- ・ 「日機連週報」休刊のお知らせ

日機連ではホームページを開設しておりますのでご利用下さい。

URL : <https://www.jmf.or.jp>

[バックナンバーはこちらから](#)

< 禁無断転載 >

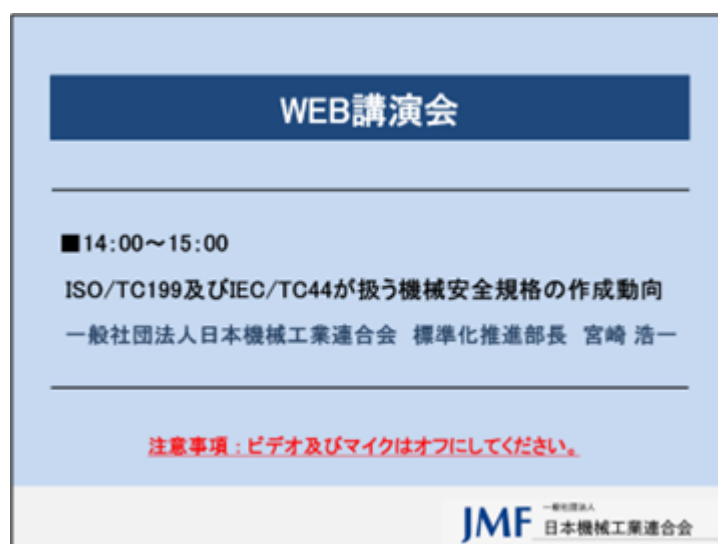
● 委員会報告

日機連 WEB 講演会「ISO/TC199 及び IEC/TC44 が扱う 機械安全規格の作成動向」を開催

日機連では、国内産業界への機械安全普及活動の一環として講演会を開催し、主要な国際規格を紹介する他、機械安全に関係する幅広い情報を発信している。

本年度は「ISO/TC199 及び IEC/TC44 が扱う機械安全規格の作成動向」と題して、2025 年 3 月 18 日(火)に WEB 講演会を開催した。

本講演会では、弊会が国内審議団体となっている ISO/TC199(機械類の安全性)及び IEC/TC44(機械類の安全性－電氣的側面)の概要説明(組織構成、担当範囲等)と共に、両 TC の最新動向(国際規格の開発状況、主な改正点、対応 JIS 原案の作成状況等)について、弊会標準化推進部長の宮崎より報告した。



講演会次第

[講演概要]

[「ISO/TC199 及び IEC/TC44 が扱う機械安全規格の作成動向」\(PDF ファイル 1,579KB\)](#)

(禁無断転載)

[日本機械工業連合会 標準化推進部長 宮崎]

1. ISO/TC199 及び IEC/TC44 の担当範囲
2. 機械類(machinery)／機械(machine)
3. 安全性／安全(Safety)
4. ISO/TC199(Safety of machinery／機械類の安全性)
 - 4.1 ISO/TC199 の組織
 - 4.2 改定・新規作成作業中の規格
 - 4.3 廃止規格
 - 4.4 その他規格
 - 4.5 JIS 原案
5. IEC/TC44(Safety of machinery – Electrical aspects／機械類の安全性－電氣的側面)

- 5.1 IEC/TC44 の組織
 - 5.2 改定作業中の規格
 - 5.3 改定作業の実施が決定されている規格
 - 5.4 その他規格
 - 5.5 JIS 原案
- (参考)ISO/TC199 規格一覧
(参考)IEC/TC44 規格一覧



[標準化推進部]

● 研究成果報告

「第 11 回 ロボット大賞事業報告書」の公表について

当会では、「第 11 回 ロボット大賞事業報告書」を取りまとめ、ホームページに公表しましたのでお知らせいたします。

○ 第 11 回 ロボット大賞事業報告書

[発行機関:一般社団法人 日本機械工業連合会]

[発行年:2025] [ページ数:29] [報告書形式 PDF:3.35MB]



ロゴをクリックすると報告書のダウンロードページにジャンプします。



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助を受けて実施したものです。

<https://www.jka-cycle.jp/>

[業務部]

日機連の動き

○ 今後の会合予定

開催日時		会 合 概 要	場 所
5 月	8 日(木) 17:00～	2025 年度第 1 回日機連記者室運営企画検討委員会・新旧役員懇談会(大阪事務所)	日機連大阪事務所 (大阪市北区)
	9 日(金) 10:00～	第 15 回 JIS B 975-1 改正 WG	日機連会議室 3
	20 日(火) 17:00～	大阪機械広報懇話会・第 61 回通常総会・懇談会(大阪事務所)	大阪キャッスル ホテル
	23 日(金) 15:30～	第 9 回 GVC 研究委員会 講演テーマ:「中国経済の現在地、米中対立の行方から日本機械産業の対応を考える(仮)」 講師:①日本経済新聞社 上級論説委員兼編集委員 高橋哲史様 ②三菱電機 グローバルチーフアドバイザー 松下聡様(副委員長)	日機連会議室1・2
	26 日(月) 15:00～	第 78 回社員満足向上懇話会(大阪事務所)	日機連大阪事務所
	27 日(火) 13:30～	第 117 回 IEC61496WG	日機連会議室 3
	30 日(金) 14:00～	第 101 回社員満足向上懇話会・実務担当者部会(大阪事務所)	梅田センタービル
6 月	3 日(火) 15:00～	第 653 回海外業務懇談会	日機連会議室1
	6 日(金) 15:30～	第 714 回総務懇話会(大阪事務所)	日機連大阪事務所
	11 日(水) 15:30～	第 10 回企業マネジメント研究委員会 講演テーマ「富士通様が目指す労働力不足時代の製造業への生成 AI 活用」 講師:富士通(株) 人工知能研究所 シニアディレクター 鈴木源太様 ・Fujitsu Technology Hall での技術紹介視察	富士通(株) 本社

「大阪機械記者クラブ」のホームページがリニューアルしました。



会員イベント情報

(一社)日本食品機械工業会「FOOMA JAPAN 2025」開催のお知らせ

一般社団法人 日本食品機械工業会(FOOMA)では、食品機械・装置及び関連機器に関する技術並びに情報の交流と普及をはかり、併せて食品産業の一層の発展に寄与することとし、「食の安全・安心」に関心が高まる中、食品機械の最先端テクノロジー、製品、サービスを通して、「食の技術が拓く、ゆたかな未来」を提案する、世界最大級の食品製造総合展示会「FOOMA JAPAN 2025」を、2025 年 6 月 10 日(火)～13 日(金)の 4 日間、東京ビッグサイト 東 1～8 ホールにて、今年も開催いたします。

現在、食品産業界は安全・安心な食品の提供はもとより、労働力の確保、生産性向上、省力化・自動化、食のグローバル化、食物ロス削減、地球環境への負荷軽減等さまざまな課題を抱えています。

本展では「食の安全・安心」という基本を堅持しつつ、未来を彷彿とさせる最先端 AI やロボットなどイノベーションかつ最新鋭の製品・サービスの展示と併せ、サステナブルな展示会開催にも、より積極的に取り組んでまいります。

今年のテーマは“ Touch FOOMA , Taste the Future ”です。最新の技術と革新が交錯する FOOMA JAPAN 2025 では、食品製造プロセスにおける 21 カテゴリー1 ゾーンに約 1,000 社が集結。次の時代の食品製造が現実のものとなる瞬間を体験することで、食品製造の未来につながる気づきに出会えることでしょう。次世代の食品製造の可能性に「触れ」、その未来を「味わう」ことが、技術革新を生み出す契機になるものと確信しております。

画期的なテクノロジーやアイデアが集積するスタートアップゾーンでは、AI やロボティクス、DX など食品製造の未来を担い、新たなリソースとして期待される技術が数多く出展します。FOOMA アワードでは、食の可能性と未来を拓く最先端技術を顕彰し、食の未来を支える技術の普及と、業界全体のイノベーション促進に貢献いたします。FOOMA JAPAN 2025 への皆さまのご来場を、心よりお待ち申し上げております。

記

日 時:2025 年 6 月 10 日(火)～13 日(金) 午前 10 時～午後 5 時

会 場:東京ビッグサイト 東 1～8 ホール 主 催:一般社団法人 日本食品機械工業会

FOOMA JAPAN 2025 は完全来場事前登録制です。

公式 WEB サイトから事前にクイックパス(入場証)を入手してください。※登録無料

お申し込み:FOOMA JAPAN 2025 公式ウェブサイト(<https://www.foomajapan.jp/>)から



バナーをクリックすると公式 HP にジャンプします。

(一社) 日本フルードパワー工業会
「2025 年度第 1 回目 油圧講座・空気圧講座」のご案内

一般社団法人 日本フルードパワー工業会(JFPA)では、人材育成の一環として、本年度の第 1 回目の油圧・空気圧の講座を開催いたします。なお油圧・空気圧共に講座内容としては、座学と製品実習の2種類を用意しています。頭による理解(座学)と体による理解(製品実習)の双方により、より深く理解できます。若手社員の方々へのスキルアップの場として、ご活用いただけますようお願い申し上げます。なお、本講座への参加は、当工業会会員企業の方及び一般の方も参加可能です。申込期限は5月2日(金)までです。受講ご希望の方は、お急ぎください。

記

1. 油圧講座

1-1. 座学 入門編

- ・日時 2025 年 5 月 12 日(月) 13:00～16:30
- ・会場 [機械振興会館](#) 会議室 地下3階 B3-1
- ・講師 油研工業(株) プロニコフ・アナトリ氏
- ・受講対象者 油圧実務経験 未経験 ～ 0.5 年程度の方
- ・受講料 会員 : 5 千円/人 一般 : 1 万円/人
- ・開催方法 ハイブリット方式
- ・Web接続(Micro Soft Teams)
- ・定員 20 名(最大)

1-2. 製品実習 入門編・基礎編

- ・日時 2025 年 5 月 16 日(金) 13:30 ～ 16:20 (受付 13:00～13:30)
- ・会場 [川崎重工業株式会社 精密機械・ロボットカンパニー 研修センター\(西神戸工場内\)](#)
- ・講師 川崎重工業(株) 原田 隆史氏
- ・受講対象者 油圧実務経験 未経験の方から受講可能
- ・受講料 会員: 1 万円/人 一般: 2 万円/人
- ・定員 16 名(最大)

2. 空気圧講座

2-1. 座学 基礎編

- ・日時 2025 年 5 月 9 日(金) 13:00～16:50
- ・講師 日本フルードパワー工業会 大熊 正博
- ・受講対象者 空気圧実務経験 未経験 ～ 0.5 年程度の方
- ・受講料 会員 : 5 千円/人 一般 : 1 万円/人
- ・開催方法 Web 参加のみ(Micro Soft Teams)
- ・定員 20 名(最大)

2-2. 製品実習 入門編・基礎編

- ・日時 2025 年 5 月 15 日(木) 13:00 ～ 16:30
- ・会場 [機械振興会館](#) 会議室 地下3階 B3-2
- ・講師 日本フルードパワー工業会 大熊 正博
- ・受講対象者 空気圧実務経験 未経験の方から受講可能 (空気圧実務経験 未経験～2 年程度)
- ・受講料 会員 : 1 万円/人 一般 : 2 万円/人
- ・定員 10 名(最大)



一般社団法人
日本フルードパワー工業会
Japan Fluid Power Association

講座内容、申込方法等の詳細は、バナーをクリックし、公式ホームページをご確認下さい。

お申込の期限は、5月2日(金)まで。受講ご希望の方は、お急ぎください。

Washington Report ワシントンレポート 特別記事

ワシントンコア社より特別記事を寄稿いただきました。

『小さな街アルファレッタが「南部のテクノロジー都市」になれたワケ』

トランプ政権の米国国内への投資増強政策を追い風に、各州・各自治体が誘致活動を今まで以上にアグレッシブに展開しております。

図らずもワシントン DC で 5 月 10 日～14 日(5 日間)米投資サミット『SELECT USA』が開催され、多くの日本企業が参加するとみられております。

今や全米 50 州のうちほとんどの州では、日本が最大投資国となっていると言われております。総じて質の高い雇用が特徴的な日本企業の投資は、米国の州・自治体にとって「渴望案件」となっています。外国企業の誘致が米国においてヒートアップする中、今回は、『南部のシリコンバレー』と呼ばれるジョージア州アトランタ郊外アルファレッタをご紹介します。ドイツの産業機械や医療機器メーカーなどが最近、進出・工場拡大を決めた当地の魅力をご紹介します。

詳細は URL ご参照ください。(PDF:4MB)

<https://www.jmf.or.jp/jmf/wp-content/uploads/2025/04/WCOREtr1.pdf>



ALPHARETTA GEORGIA

米南部ジョージアの州都アトランタ郊外にある小さな街アルファレッタで、IT・機械・医療機器・バイオなどの技術分野を中心に、800社ほどの企業が密集する産業地域の発展が著しい。今や南部のシリコンバレーとまで言われ、発展を遂げている。経済開発局チャリ-ジョエル氏は、アルファレッタを「アトランタ州シャーロットやテキサス州オースティンと並ぶ。この街の発展の背景や魅力について、ワシントンコアがジェエル氏にお話をうかがった。

ドイツの機械・医療機器企業も新事業所・工場拡大

新施設は米南部東部のハブとして機能する。2024年8月にアルファレッタに新オフィスを開業させた産業用印刷機メーカー（FA）の世界的メーカーであるドイツのベウコ・オートマーション社（Beuckhoff Automation GmbH & Co. KG）の米国法人幹部は新オフィスについて、以下のように説明している。

1500平方メートルの新オフィスは、主に販売やサポートの拠点はとなるが、顧客とのミーティングやセミナーなども開催されるという。同社は「世界的なもののづくりの大手が暮らす米南部東部を通じて顧客と市場シェアの拡大を続けるための戦略的な立地としている。

また、医療機器産業やバイオテクノロジー分野の企業も当地に引き込まれている。例えば、ドイツの呼吸器・運動分析の機器大手パルコソ社（Palunk Corporate）が2023年6月に米国法人の本社をアルファレッタに移転。米国では、呼吸器が重要な位置を占める産業で、その地方を拠点とするとして、最先端医療製品の開発が伸びており、同社は「この分野で事業を拡大したい」と、アルファレッタにおいて、約1万5000平方メートルのビルと、約8000平方メートルの商業施設を建てる大規模な施設を建設し、同社幹部は「未来への投資」を強調している。

アトランタの北方、800社が拠点を

アルファレッタは、アトランタの北40キロに位置し、もともとジョージア州の中心地である。経済の中心地であるアトランタのベッドタウンだった。しかし、近年はテクノロジー関連企業の進出が進み、同市のチャリ-ジョエル経済開発局長によると、現在は400社以上が市内に拠点を構える。経済開発局ではパルコソのほかにも調剤のアル-ラ（Alora Pharmaceuticals）傘下の2社や医療人材のRep-Liteという

人口6万7000人の人口が平日の昼間には倍近い12万2000人に膨れ上がるほどの活気を醸し、今や米産業の拠地となっている。大半以上の最終生産を持つ住民は全米平均よりもはるかに高い71%に上るといふ。ジェエル氏は全米有数のテクノロジー都市として知られる「アトランタ州シャーロットやテキサス州オースティンと並ぶ」。

この小さな街が「南部のテクノロジー都市」としてこれほど発展した理由は何か。一つは、「地の利」が挙げられる。近隣のアトランタは、コカ-コーラやGMなどの大企業で知られ、新設のテクノロジーのベンチャーの拠点を注目を集める米医療研究センター（CDC）も本部を置き、もともとエコシステムを構築しやすい環境にあった。ただ、理由はそれだけではない。

光ファイバー整備、誘致制度も充実

アルファレッタ市当局は1990年代からテクノロジー産業に注目し、インターネット普及の早い段階から市内全域に光ファイバー網を導入。このインフラ整備が呼びとなり、その後の

本資料及び米国投資・技術動向全般にご関心のある方はワシントンコアにお問い合わせください。

<https://www.wcore.com/home/contact-jp/#form-jp>

お問い合わせお待ちしております！

お知らせ

(独)中小企業基盤整備機構「輸出・ビジネス拡大を目指す「海外 CEO 商談会」の参加者募集！【6/30～7/4 大阪開催】」

海外企業と日本の中小企業とのビジネスマッチングを促進するため、「先端産業 CEO 商談会」を 6/30～7/4 に関西万博近郊の大阪会場で開催いたします。

本商談会には、日本製品の購入・代理店契約、日本企業との合併会社設立、共同開発などを希望する「航空宇宙 26 社、産業機械 19 社、AI・IT10 社、電子機器 8 社、自動車・EV7 社、環境・エネルギー、素材 7 社、家電、消費材等 6 社」の海外企業経営者等が参加予定ですので、輸出拡大、ビジネス拡大を目指す企業の皆様は、奮ってお申込み下さい。

◆詳細・お申込みはこちら https://jgoodtech.smrj.go.jp/pub/ja/lp_ceo/tech2025/

◆海外企業の概要はこちら

https://jgoodtech.smrj.go.jp/pub/ja/lp_ceo/tech2025/assets/pdf/tech2025list.pdf

<開催概要>

◆開催日程 :2025 年 6 月 30 日(月) ～ 7 月 4 日(金)

◆申込締切 : (仮申込)2025 年 5 月 2 日(金)終日
(本申込)2025 年 5 月 8 日(木)18 時

◆開催方法 : 対面商談(会場は大阪)又はオンライン(Microsoft Teams)

※来日する海外企業は、5 月下旬に確定見込みとなります。

※対面商談される日本企業を優先いたします。

◆募集対象 : 海外販路開拓、海外展開を目指す中小企業

◆参加費 : 無料

◆参加国・地域: インド、シンガポール、タイ、フィリピン、ベトナム、台湾、香港、マレーシア、フランス、イギリス

◆主催 : 独立行政法人 中小企業基盤整備機構 販路支援部マッチング支援課

TEL: 03-5470-2375

Email: ceo-network@smrj.go.jp

○「日機連週報」休刊のお知らせ

2025 年 5 月 2 日(金)付けの「日機連週報」は休刊します。

